

26日 10:30～ 大ホール

## 石見相聞歌演奏・合唱

『万葉集』(巻二131)の長歌と短歌をベースに高橋久美子氏(作曲家・日本音楽集団団員。第73回文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞)が作曲した楽曲を、グラントワ弦楽合奏団・島根邦楽集団・グラントワ合唱団が発表。

26日 11:40～ 大ホール

## エバーグリーン・ミニコンサート

フォークソング全盛期に青春時代を過ごした二人組。安部良治、佐々木雅文でふるさと益田にちなんだ歌を作って歌っている。柿本人麿や神楽、糸操り人形などを題材にした「人麻呂哀歌」、高津川を歌った「悠久の川」を演奏予定。

26日 13:30～ 大ホール

## 記念講演会

坂本信幸氏(奈良女子大学名誉教授・高岡市万葉歴史館名誉館長)による「万葉集と相聞歌」、川島芙美子氏(山陰万葉を歩く会会長)による「一千三百年続く人麿信仰と石見」と題した講演会を行う。

27日 10:30～ 大ホール

## 創作朗読劇「人麿さん物語」

益田の人麿歌集『愛しき妹と海のうた』に基づき永田賢治氏により新たに創作された朗読劇。演劇集団などの各文化団体とのコラボレーションで朗読・群読・歌・映像で人麿さんの歌と生涯を語る。

27日 13:30～ 小ホール

## 人麿の里 全国万葉短歌大会

石西歌人クラブ、島根県立万葉公園との共催で、全国に公募し人麿の里短歌大会を実施(一般の部、ジュニアの部二部門で実施)。記念講演として秋葉四郎氏(短歌誌「歩道」発行人)による講演。短歌大会表彰式、選者による講評も併せ実施。

26日 11:00～ 大ホール

## 記念式典

島根県内外の柿本人麿ゆかりの地から多くの来賓を招き行う。柿本人麿没後1300年祭実行委員会委員長、柿本人麿没後1300年祭推進委員会委員長の挨拶。来賓を紹介し祝辞をいただく。

26日 13:00～ 大ホール

## 和歌披講

和歌披講を伝承する会(代表 大谷香代子氏)。和歌披講とは和歌を読み上げたのち、節をつけて歌うことを言う。現在歌える人は100人もいないとされる。6人のメンバーで古式に則り、桂袴と狩衣の装束で人麿ゆかりの歌を情感豊かに歌い上げる。

26・27日 12:00～ 中庭広場

## ひとまるマルシェ

26・27日の2日間、中庭広場で12:00～16:00まで各種飲食ブースの出店を予定。

27日 13:00～ 大ホール

## 創作神楽「人麿伝」 高津神楽社中

柿本人麿没後1300年祭及び益田市文化協会創立40周年を祝し、新たに益田市文化協会事務局長矢富實氏により創作された石見神楽「人麿伝」を高津神楽社中が演じる。益田市文化協会主催

26・27日 9:00～ ホワイエ

## 展示・書籍販売・万葉茶会

「伝承が語る人麿の生涯とゆかりの地」をテーマに初公開の鴨島立体模型や松崎の里想像図を展示。万葉ゆかりの書籍や地元作家の書籍販売。茶道裏千家石見淡交会青年部によるお茶席。抹茶券500円。※お茶席は26日10:00-14:00のみ実施。